

地域人材ネット

地域おこし協力隊等よそ者の受け入れ体制を整え、
未来を見据えた地域おこし

多田 朋孔 (ただ ともよし)

特定非営利活動法人地域おこし 理事・事務局長



○ 登録者情報

所在地

新潟県十日町市

略歴

第44代京都大学応援団長、京都大学卒業後、コンサルティング会社に勤める。1社目では主に中堅中小企業を対象として新規事業立ち上げや人材育成の支援を行う。2社目では主に大企業を対象に組織開発、人材開発を行う。2010年より総務省の地域おこし協力隊として新潟県十日町市にある当時6世帯13名の限界集落(高齢化率62%、年少人口比率0%)だった池谷集落に家族で移住する。地域おこし協力隊の3年間の任期終了後も池谷集落に定住し、自身でも米、野菜、卵を生産しながら地域おこしの取り組みを継続している。2018年12月現在の時点で池谷集落は11世帯23名となり、限界集落から脱却(高齢化率39%、年少人口比率26%)し、「奇跡の集落」と呼ばれるようになっている。池谷集落の取り組み以外では都会から田舎への移住支援や田舎での起業支援研修の開催、地方創生フォーラムへの登壇、故鳩山邦夫氏が本部長を務める地方創生実行統合本部地方創生検証委員会や、内閣府の「食料・農業・経済研究会」において現場の意見を政府に伝えるなど地方創生の分野で幅広く活動している。

- ・内閣府地域社会雇用創造事業 農村六起ビジネスプランコンペティション「ふるさと起業家」認定
- ・総務省 地域力創造アドバイザー
- ・地域サポート人アドバイザー
- ・あしたのチーム 認定人事コンサルタント
- ・一般社団法人シェア・ブレイン・ビジネス・スクール 認定ビジネスモデル・デザイナー®
- ・Forbes JAPAN「ローカル・イノベーター55選」で関東甲信越地区読者投票1位に選出
- ・地方自治法施行70周年記念総務大臣表彰 個人表彰「地方自治の功労者(民間人)」

現在、理事・事務局長を務める特定非営利活動法人地域おこしの受賞歴

平成23年度 地域づくり総務大臣表彰

平成24年度 あしたのまち・くらしづくり活動賞「内閣官房長官賞」

平成25年度 がつとぎつとぐつと賞「ぐつと賞」

平成25年度 第14回住みよい町づくり妻有ショッピングセンター環境大賞「環境賞」

平成26年度 第5回地域再生大賞「特別賞」

著書・論文等

Jbpress「老後の心配は無用、若者にお勧め田舎生活～頭と体が日々鍛えられ、健康で長生きできる秘密とは～」

JBpress「地方創生を实らせるのは地域住民の本気を引き出す工夫～単なる補助金バラマキやコピペの地域活性化プランに終わらせるな～」

JBpress「本気で地方創生したいなら「脱・一律」の発想を～トップランナーの育成を全体の底上げにつなげるアプローチが効果的～」

JBpress「地方創生のあるべき姿:コンパクトシティー化だけでは不十分?～見落とされがちな「農地の多面的機能」とその貨幣価値～」

「奇跡の集落:廃村寸前「限界集落」からの再生」

○ 地域おこし協力隊等よそ者の受け入れ体制を整え、未来を見据えた地域おこし

取組の内容

十日町市飛渡地区の地域おこし協力隊として2010年2月～2013年2月まで活動しました。

飛渡地区内にある、居住集落の池谷集落で2010年の3月に「5年後の池谷」を考えるワークショップの企画とファシリテーションを行いました。その後、池谷集落を中心とした任意団体十日町市地域おこし実行委員会を内閣府雇用創造事業「農村六起ビジネスプランコンペティション」に応募し、審査員からの認定を受けた上でNPO法人化し、ボランティア団体から11名の職員を雇用する組織にしました。

事務局長を務めるNPO法人十日町市地域おこし実行委員会では、以下3つの事業を行っています。

①池谷・入山モデル作り事業：中越地震をきっかけに震災復興から地域おこしの活動を始めた池谷・入山集落で限界集落再生のモデル作りを現場で実施しています。自らも農作業に従事し、お米や野菜、農産物の加工品の商品化、都会から農業体験や雪国体験に来る人達の受入、後継者の誘致といった取り組みを行っています。

②地域復興支援員設置事業：十日町市内全域の中山間地振興を行っています。特に力を入れているのが、地域おこし協力隊のサポートと地産地消の取組みと伝統行事や高齢者サロンの支援です。

③地域おこし応援事業：県や市とも連携しながらインターンシップの受入、移住相談会、移住希望者が情報を収集できるサイト「さとナビ」の管理を通じて、移住促進の取組みを行っています。また、全国各地からの視察受入や講演依頼への対応で事例紹介や地域おこしにおける重要なポイントを整理して情報提供を行ったり、農村での起業支援も行っています。

2010年に作った「5年後の池谷」の将来像は書いていた内容がある程度形になって実現しています。

2015年3月には池谷集落のお年寄りの方々から「もう5年経ったので今度は3年後を考える会を開いてくれ。」と言われ、3年後を考える会の企画とファシリテーションを行いました。

なぜ5年後でなく、3年後なのかというと、集落のお年寄りの方々が80歳近くになっており、5年後というともうどうなっているかわからないけど3年後だったら何とか頑張れるという事からです。

飛渡地区全体での取組みとしては、2012年から「食と農を考える飛渡の会」の立ち上げに尽力し、地区内の集落をまたがった取組みを開始しました。飛渡地区の中には後任の地域おこし協力隊が受け入れ続けられる仕組みが来ています。2015年度に飛渡地区の将来ビジョンを作るためのワークショップの開催を行い、その結果、農業部会・交流部会・福祉教育部会に分かれた活動が行われるようになってきています。

実績

十日町市地域おこし実行委員会での取組みのうち、①池谷・入山モデル作り事業においてはお米の個人への販売量は以下のように推移しています。

H21年度産米8987kg、H22年度産米9,281kg、H23年度産米8,215kg、H24年度産米8,253kg、H25年度産米10,315kg、H26年度産米9,026kg、H27年度産米10,290kg

また、新規就農者育成住宅「めぶき」を新築で建設しており、その資金調達の一環としてクラウドファンディングを実施しました。結果、1,000,000円の目標に対し、1,486,000円の支援を頂く事が出来ました。クラウドファンディング以外にもふるさと納税を通じて500万円を超える寄付金を集めました。この「めぶき」を建設後、新たな移住者も迎え入れる事が出来ました。その結果、私が移住する直前池谷集落は6世帯13名で高齢化率62%だったのが、現在は11世帯24名にまで増え、高齢化率は38%で年少人口比率は21%になっています。

②の地域復興支援員設置事業において、十日町市の地域おこし協力隊のサポートを行っていますが、この結果として累計52名の隊員が十日町市では任用され、37人が退任し、そのうち68%の25人が十日町市内に残っています。

③の地域おこし応援事業では、インターンシップをこれまでに31名十日町市内に受け入れ、そのうち11組14名が十日町市内にインターンシップ終了後も住んでいます。また、起業支援の取組みでは研修を受けた人のうち、5人が実際に起業しました。

飛渡地区全体の取組みでは、食と農を考える飛渡の会と農業部会で野菜やお米の販売が行われており、その販売額はH24年度1,158,862円、H25年度2,028,752円、H26年度7,683,689円、H27年度7,730,077円と右肩上がりで推移しています。H28年度から沖縄にお米を1150俵出荷するという商談も発生し、金額に換算すると約2000万円の取引となりました。飛渡地区では地域おこし協力隊の受入体制も良く、これまで累計8名任用して5名が退任し、5名とも十日町市内に残っています。これは十日町の中でも見本になると市役所の人からも評価されています。

工夫した点や苦勞した点

苦勞した点は、1人で何役もやらないといけないため、忙しすぎたという事です。いつまでもそれではいけないので、自分が直接動かなくても回るような体制を作っていく事を意識しました。今では自分に続く移住者が増えてきており、インターンシップのコーディネート業務や食と農を考える飛渡の会の取組みなど、いくつかの取組みについては自分がノータッチでも回る状態になりました。

ひとことPR

自分自身も元地域おこし協力隊員として活動をし、現在地域内に定住しながら地域おこしの現場での活動を継続しているので、よそ者の考え方と地域内部の人の考え方が両方わかる事と机上の空論ではない現場主義が強みだと思います。行政と外部人材だけが独り歩きするのではなく、地域ときちんと足並みをそろえた活動を着実にやっていく事に留意した取組ができると考えています。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

○	1	地域経営改革	7	まちなか再生
	2	地場産品発掘・ブランド化	8	若者自立支援
	3	少子化対策	9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進	10	環境保全
○	5	定住促進	11	その他
	6	観光振興・交流		

関連ホームページ

NPO法人地域おこし 池谷・入山ガイド	http://www.iketani.org/
Facebook	https://www.facebook.com/tomovoshi.tada
ブログ	http://tobitari.com/archives/author/tomoyoshitada/
いなかパイプ	http://inaka-pipe.net/category/tada_tomovoshi/
さとナビ	http://www.tsukurou-tokamachi.jp/?author=10
Jbpress	http://jbpress.ismedia.jp/search/author/%E5%A4%9A%E7%94%B0%20%E6%9C%8B%E5%AD%94

連絡先

メールアドレス	tomovoshi[at]tadafamily.com	その他	
---------	--	-----	--

※メールを送る際には[at]を『@』に変えてください。